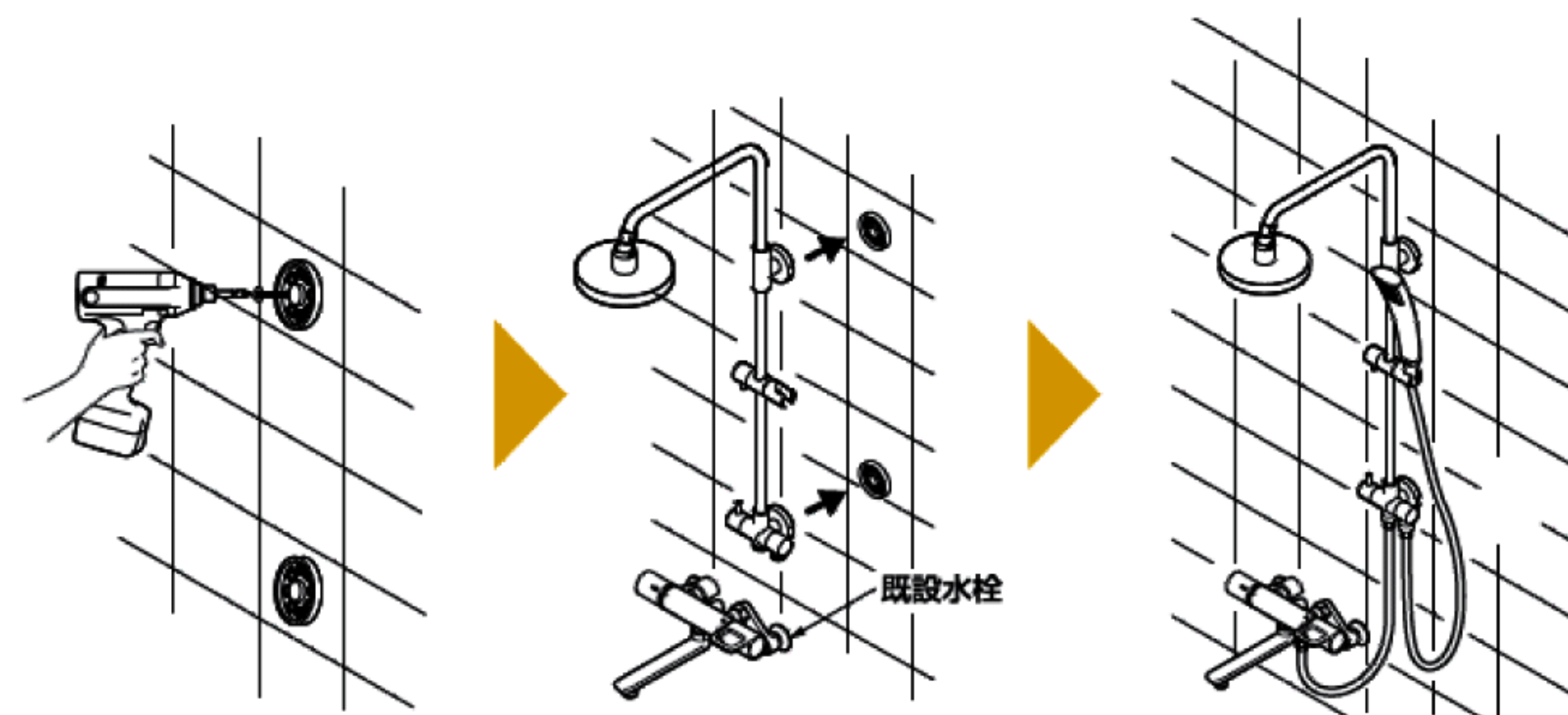


# シャワーバー (Hi-Gシリーズ)

2011年2月発売

## 施工前の注意ポイント編



2011.6.1

制作:TOTO

# 目次

1. 浴室壁材の確認
2. ユニットバス・システムバスへの取付可否
3. 取付範囲の注意点
  - ・照明器具、障害物など
  - ・ユニット継ぎ目、壁面からの距離
  - ・消防法による浴室乾燥機との取り合い
4. 取付推奨範囲
5. 取付推奨高さ
6. 最低必要水圧の確認方法
7. 位置決めシート(事前確認用)のご紹介

# 1. 浴室壁材の確認

## 簡易的な見分け方

- ①天井の点検口の有無。
- ②ドア下回り、排水回りの一体化の有無。



有:ユニットバス  
無:在来



ただし、上記がすべてではありません。  
現場により異なることもありますので、工事業者さまにご確認ください。

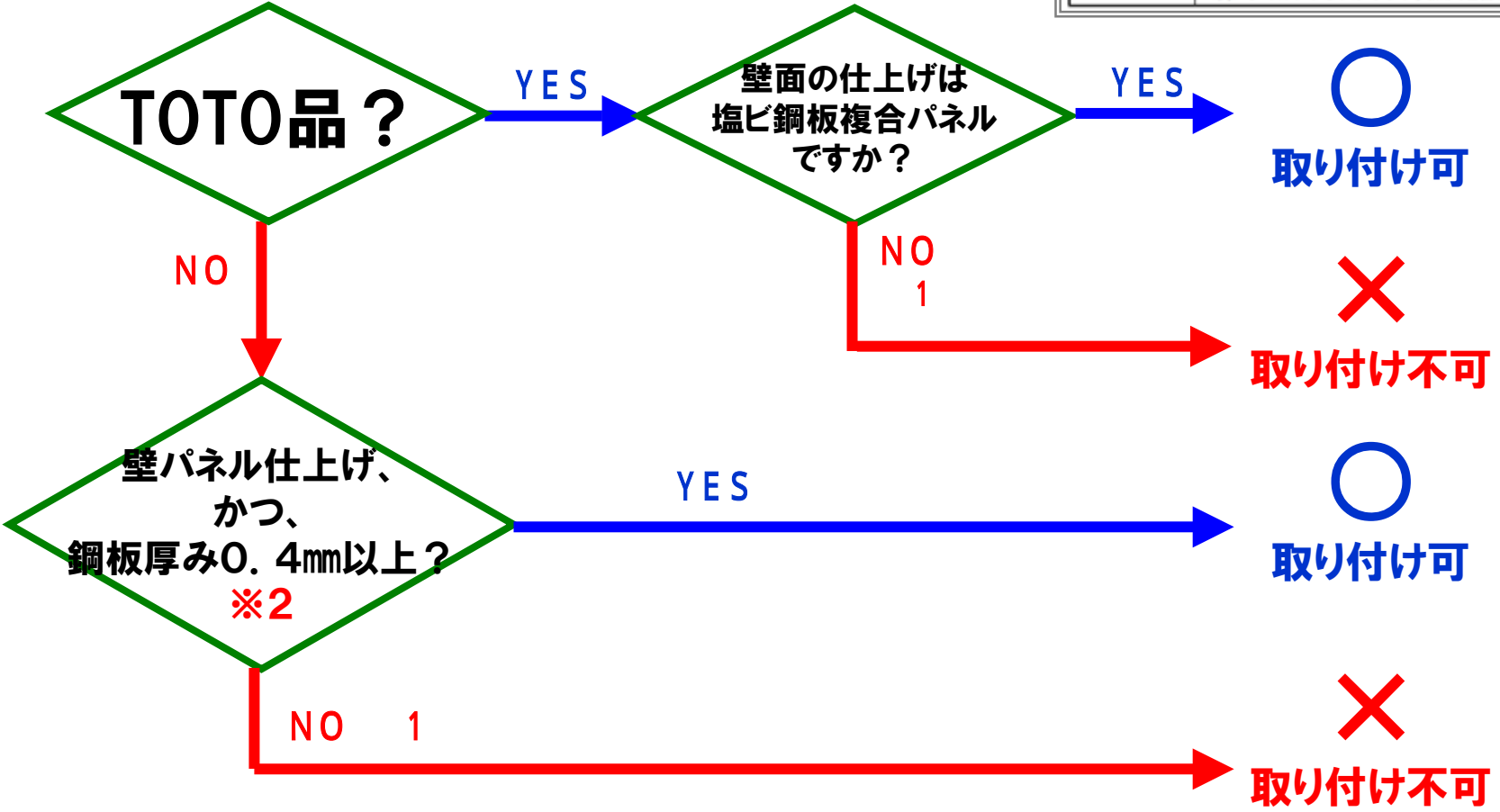
**必ず強度のある壁・建築構造体に  
取り付けのこと**

# 2. ユニットバス・システムバスへの取付可否

## 可否判断フロー

浴室壁材		取り付け可否
在来浴室	木下地	○
	コンクリート下地	○
ユニットバス および システムバス	0.4mm以上の鋼板の壁 塩ビ鋼板複合パネル、HQパネル、OCパネルなど	○
	その他 <例>タイル、プラスチック、天然大理石等	×

説明書表記

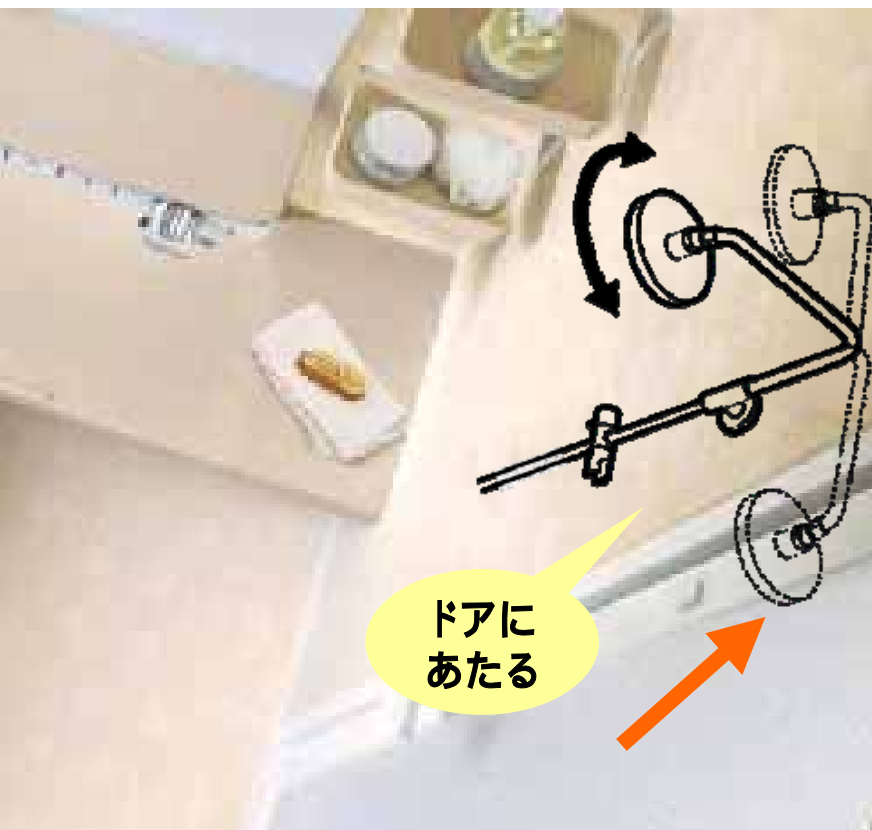


※1 壁面仕上げが、タイル・プラスチック・天然大理石等の場合は取り付け不可です。  
 ※2 壁の材質については、ユニットバス・システムバスメーカーにお問い合わせください。



### 3. 取付範囲の注意点

- ・照明器具、障害物など

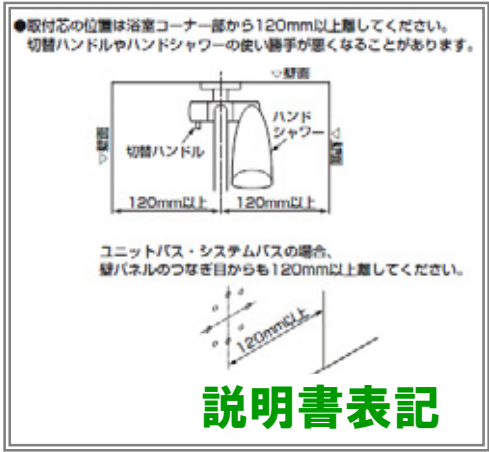


**オーバーヘッドシャワーの可動範囲は360度。**

照明器具や鏡への接触による破損防止のため、  
施工前には可動範囲をご確認の上お取り付けください。

# 3. 取付範囲の注意点

## ・ユニット継ぎ目、壁面からの距離



強度に影響を及ぼすため  
ユニットバスの壁パネルの  
継ぎ目から120mm以上  
離すこと



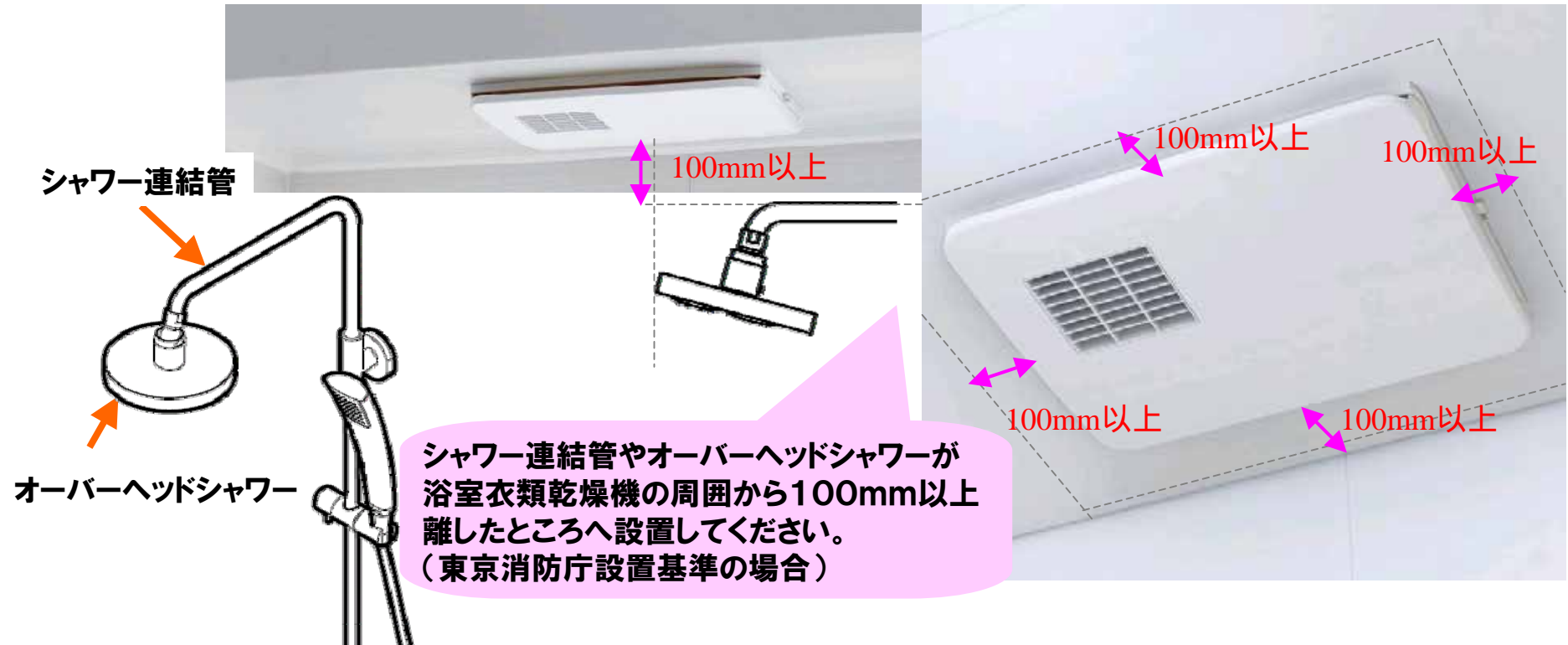
操作性の確保のため  
壁側面から120mm以上  
離して設置すること

**<注意>**  
ユニットバス壁パネルの継ぎ目が横の場合も同様に120mm以上離すこと

# 3. 取付範囲の注意点

・消防法による浴室乾燥機との取り合い

消防庁文書の  
文面追加



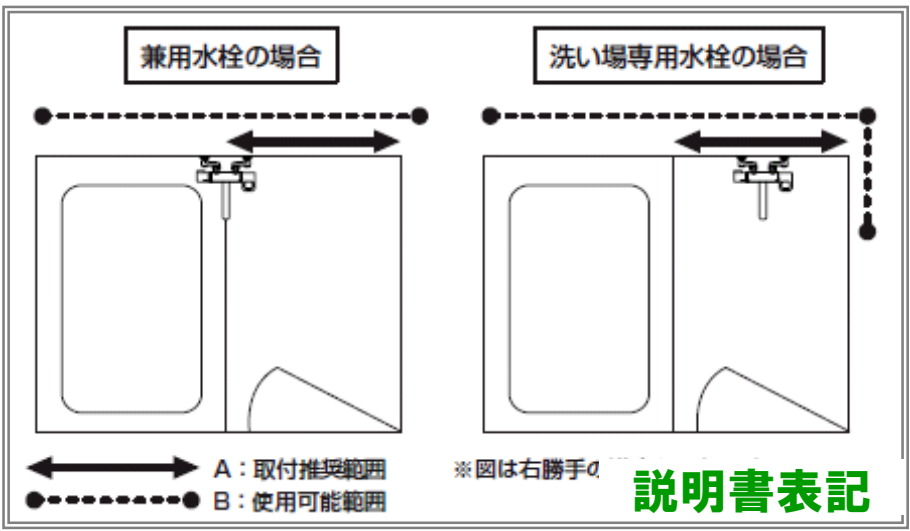
## 浴室衣類乾燥機が設置してある場合

消防法第九条に基づく市町村条例基準により、浴室用衣類乾燥機が設置してある場所へのシャワーバー取り付けは、防災上の規制に注意してください。

(例)東京消防庁設置基準

「温風吹出口および空気吸込口の100mm以内に衣類を含め、一切のしゃへい物がないこと」

# 4. 取付推奨範囲



**取付推奨位置は、水栓金具設置箇所の近く  
側面の壁に設置する場合は接続ホースの長さ調整を  
十分ご検討の上引っ掛かりなどないようにご注意ください。**



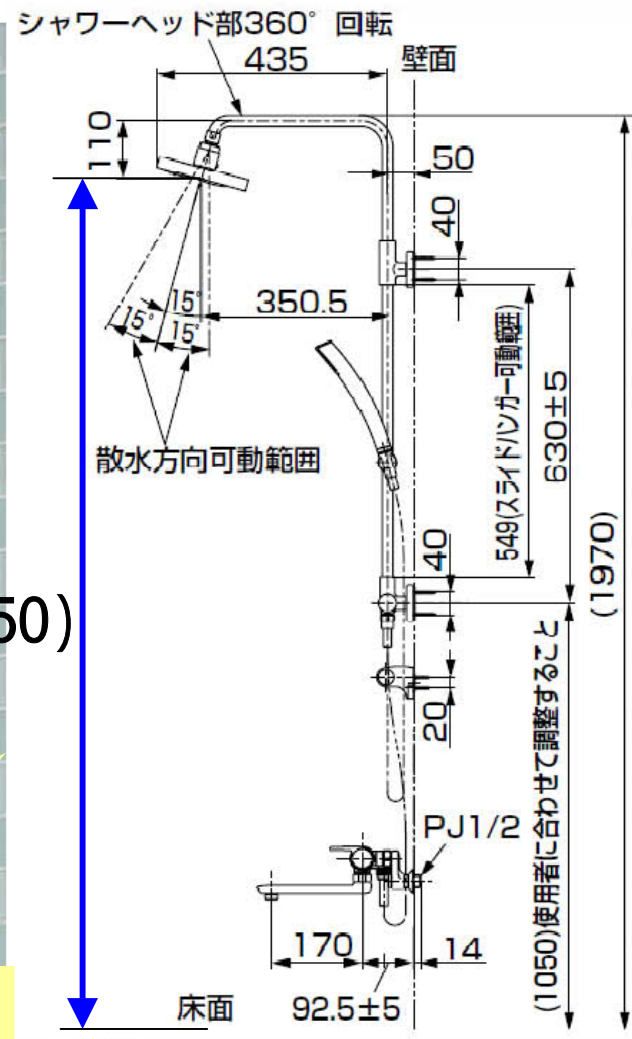
# 5. 取付推奨高さ

使用者の身長に対し、散水板の位置を200mm程度の高さに設定することを  
お勧めします。



(1850)

設置する浴室の天井高さや複数の使用者がいる場合は、  
使用者間の身長差等も考慮した上で、お客様とご相談の上  
設定をお願いします。



天井高さ:2,000mmの場合

## 6. 最低必要水圧の確認方法



容量は、洗面器裏に記載されています。

**最低必要水圧は、0.1MPa。**

＜水圧の条件の目安＞

水栓金具の吐水側の流量が、14L/分程度必要です。

例) 容量3Lの洗面器の場合、約13秒で満杯になる流量です。

容量4Lの " " 、約17秒で " " 。

## 7. 位置決めシート(事前確認用)のご紹介

取付範囲の確認に便利な、

確認シート(実物大のイラスト)を

ご用意しております。

カタログNo.3025

ぜひ、ご活用ください。

